

目標達成計画

作成日: 平成31年 1月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	16	家族様との信頼関係の強化が求められる。	事業所と家族様との意見交換がしやすい環境を作っていく。思いを引き出せるようにしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・面会時の対応を職員全員が見直す。挨拶だけでなく、また利用者様の近況報告だけでもなく、家族様の思いやご要望等の話を聞く。面会簿の活用で伝えたいことを伝える。 ・家族様が参加できる行事の開催(年1回)をする。 ・家族様個々の性格や思いも違うことも理解し対応をする。 	12カ月
2	26	利用者様の状況・思い、また「本人本位」の視点を持ち、また家族様のご意向に沿えるような介護計画書を作成していく。	利用者様の心身面の課題のみ焦点を当てるのではなく、本人本位の為の介護計画書を作成できるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画書の作成の際は、現状を細かくお伝えし、意見をしっかりともらい反映する。(面会時・電話連絡) ・チームで作成できるように、職員間の情報共有だけでなく、その方にかかわる方の意見等も参考に計画書に組み込んでいく。 	12カ月
3	40	家族様との協力を求めながら、全体で行ける外出支援・また個別外出支援を考えていく。(喫茶や外食も含め)	利用者様一人一人に合った外出支援ができるようにしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回無理のないように利用者一人一人に合った外出支援を考えていく。(体調や気候を含め) ・利用者様のADLや思いも考え職員同士の意見・1F2Fとフロア関係なく全体で考えていく。 	12カ月
4	2	地域との繋がりの強化が求められる。	施設全体が地域に根差し、地域のための施設になるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員・利用者様と散歩等に出掛け挨拶等を交わし触れ合う機会を作っていく。 ・地域の行事参加・ふれあい喫茶(事業所案内やお知らせを行う)・お祭りの参加を行う。 ・相談窓口になれるように掲示物の定期的な張替え等を行う。 	12カ月
5	13	職員の質の向上と定着、また一人一人の力の底上げが求められる。	指導できる職員を多数作り、新しい職員が入っても安心して働ける体制を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各職員、マイチャレンジ(個別面談)等を行い、その職員の適正も考慮しつつ役割を明確にしていき、振り返りの時間も作る。 ・現場主体で考えられる体制を作り、現場主任中心・意見を集約できる体制を作る。 ・職員定着できるようにその日その日の職員のお話をしっかり聞き、受け止め改善があれば都度改善していく。 	12カ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。